

川俣町で活躍する輝く女性たちを紹介

輝く川俣町の女性たち

自分の住む地域や町と繋がり、いきいきと自分らしく
元気に活動する皆さんが川俣町にもいます。今回は町内
で活躍する5名の方に話を聞きました。



おきがる亭
まり
大内 満里 さん (山木屋)

山木屋に戻ってきた時の憩いの場を守りたい

避

難指示が解除され、4年経ちましたが、除染や復興道路の工事など山木屋のために働いてくれる方がたくさんいて、その人たちのために何かしたいという思いからここで働くことを決めました。また、イベントや長期休みの際には、顔見知りの方や若い世代の方が山木屋地区に帰ってきます。そんな時に気軽に立ち寄ってたわいもない話などができる憩いの場として「おきがる亭」というこの場所を守りたいと思っています。



「自分で住む町を守りたい」そんな思いから

夫

と息子、家族ぐるみで消防団に入っています。男性が活躍しているイメージが強い消防団ですが、広報活動や一人暮らしの高齢者の家庭訪問、火災が起きた際の被災者のケアなどは、女性の方が安心感があるという声もあり、消防団は女性でも活躍できる場だと思います。また消防団は自分の住む地域に根差した活動のため、その地域に住んでいるからこそ気付く異変があり、自分の経験を消防活動に活かすことができます。



消防団員
みき
安田 幹 さん (大綱木)

地域の相談役として寄り添う

現在、民生委員として担当地区の町民の皆さんの相談を受けたり、月に1回、高齢者やひとり親世帯の見回りをしています。人と関わるのが好きだった私は、自分の住んでいる地域の役に立ちたいと思い13年前に民生委員となりました。見守りの際には、「いつもどーもない」と声をかけてもらえることがあり、とてもやりがいを感じています。1人ひとりに寄り添い、話しやすい雰囲気づくりを大切に、困っている人と役場や社会福祉協議会とのパイプ役として相談を受けているので困ったことがあれば民生委員に声をかけてください。



民生委員

高橋 せつ 節 さん (賤ノ田)

子どもたちも自分自身も大切に

5人目の子どもが2歳になった頃、突然「やりたい!」と思い、始めたのがヨガです。半年間勉強をして資格を取得し、現在、自宅やオンライン、地区公民館でヨガ教室を開催しています。ヨガは身体に良いだけでなく、自分のための時間を過ごせて心にも余裕が持てると思います。また子どもから大人まで年齢を問わずに楽しめるのもヨガの魅力です。今後は、さらに勉強を重ね、自分と同じような子育て世代のママたちを対象とした「骨盤低筋力リカバリーヨガ」教室を開催したいです。



ヨガインストラクター

黒澤 じゅんこ 潤子 さん (羽田)

食育活動を通じて復興の役に立ちたい

横浜から引っ越してきて約1年が経ち、以前、夫とボランティア活動として行っていた地産地消を軸とした「食育」の活動を川俣町でも始めました。子育て中のママやご年配の方など様々な年代の皆さんに参加していただき情報交換の場としても貴重な時間となっています。川俣町の美味しい材料を調理して作る料理は川俣町だからこそ食べられる魅力です。今後も川俣町の魅力を全国へ発信したり「食育」のイベントを開催するなど川俣町の住民として活動していきたいと思っています。



パン講師

持田 ひろえ 弘恵 さん (宮ノ脇)

